

## 山の博物誌 ②いりセンチコガネ

2018年7月大峰山系弥山・八経ヶ岳に登り、ブナ林の結実の異変を先の山の博物誌①ブナ林を歩くで紹介しましたが、その時はまた別の楽しい出会いがありました。オオセンチコガネの中でも特に美しい藍色の光沢に輝くルリセンチコガネとの出会いです。

オオセンチコガネは日本全国に分布する、いわゆる糞虫と呼ばれるコガネムシ科に属する昆虫



です。強い光沢と鮮やかな色をそなえ、おまけに地域による色彩変異があつて、本当にきれいで、楽しい糞虫です。色彩変異は大きく赤色、緑色、藍色の三タイプに分けられます。

大峰山系弥山のルリセンチコガネ 赤色型（丹波篠山市 馬頭）

最も分布が広いのが赤色型で、丹波篠山市周辺はこの赤色型です。藍色型は奈良公園から大峰山系にかけて奈良県を中心に分布し瑠璃色に輝くことから、ルリセンチコガネと呼ばれています。

私は、長らく大峰山系マレンゲの花を見ようと、その初めての機会にこの本当に感激でした。掌にてやりました。



には縁がなく、2018年夏にオオヤ初めて足を踏み入れる機会に恵まれ、ルリセンチコガネと出会うことができ、のせてじっと眺め、そしてそっと放し

鈴鹿山系には緑色型の東近江市の永源寺や、彦のを見たことがあります

ミドリセンチコガネが分布しています。根市の金剛輪寺の境内を低く飛翔するが、残念ながら写真撮影できていませ

同じ産地でも微妙に色が違います（丹波篠山市衣笠山）

ん。ぜひ写真撮影して紹介したいと思っています。最近、鈴鹿山系にはヒルが多くて、なかなかこの糞虫の活動期に鈴鹿の山に入るのがためられますが・・・

近年、日本の山に鹿やイノシシ、サル、クマ他の獣が増加して、農作物の食害他の被害、クマに襲われる事件が多発するなど、社会問題化していますが、その一方で、こんなことを書いたら叱られるかもしれませんが、嬉しいことに山に獣の糞が増え、オオセンチコガネやセンチコガネ、その他の糞虫が増えているような気がします。

同じ、18年に丹波篠山市の多紀アルプス前山の衣笠山に登った時に、鹿の糞に沢山のオオセンチコガネとセンチコガネが群がっているのを見つけびっくりしました。こんなにたくさんの個体が群がっているのを見るのは初めての経験でした。

センチコガネ類は地上低く30cm位の高さをブーンという微かな飛翔音を響かせながら飛んでいます。秋の陽だまりに休憩にしている、近くの地上に降りてごそごそ穴に潜り込んだり、活発に動いているのを見ると本当にかわいいものです。この糞虫が増えてくれるのが楽しみです。